

## 中村特別支援学校との交流 および共同学習

10月27日に5・6年生で中村特別支援学校の友だちと交流および共同学習をしました。学校に着くと、まず開会式をしました。次に、班ごとに分かれて自己紹介をしました。その後、「中特GO!」をヤラクターを見つけていきます。私は、仲良しになった友だちと手をつないで行きました。このウォークラリーでは、私たちの班が1番早く終わりました。それから、一緒に遊んだり、歌を歌ったり、ダンスを踊ったりしました。私たちは「よさこい踊り」を披露しました。そして、最後に手作りプレゼントを渡しました。すごく喜んでくれて、とてもうれしかったです。

この学習で1番心に残ったことは、みんなと楽しく遊べたことです。私たちは、これまでしようがいのある人と遊んだりしたことがなかったので、この学習で学んだことを活かして、しようがいのある人に対しての理解を少しずつ深めていきたいと思います。

(田ノ口小学校 5年 秋田星空・二岡心咲)



## 防災参観日

南郷小学校では、毎年防災参観日があります。今年は、防災のことをゲーム形式で学びました。

最初のあいさつで、先生がゲーム形式にやるといった時はすぐうれしかったです。やり方は、画面に問題が映るので、それにイエスかノーで答えるというものでした。1問目は、3000人の避難者に2000人分しかない食料を配りますか?という問題でした。ぼくは、ノーと答えました。浜田先生が1人だけイエスでした。その理由は、置いていたら腐り、1食分を2人で分ければ良いと言っていました。

ぼくは、大人は先のことや子どもでは考えられないことを考えるので説得力があつて、さすが大人と思いました。この学習をして、いろいろな場面の対処法を考えることができて良かったです。

(南郷小学校 6年 高橋 旺暉)



## ボランティアを通じて感じたこと

11月6日に大方誠心園祭があり、元気のメンバー17人がボランティアとして参加しました。

私の役割は、焼きそばの販売でした。10時頃から人が並び始め、12時過ぎには商品が追いつかないほど売れていきました。私たちがあせっているとお客さんが「ゆっくりでいいよ」と言ってくれました。私はその言葉を聞いた時、これまで「ちょっと面倒かな」と思っていたボランティアに意欲が湧いて来ました。

大方誠心園の皆さんと協力して販売をしてみても、行事を成功させることにやりがいを感じました。人とふれ合うことは楽しく、自分が地域のため役に立つことはとても気持ちがいいことだ」ということを学んだ1日でした。

(大方中学校 3年 大西 結菜)

